

青い空に浮かぶ 白い雲 169

— 東日本学校吹奏楽大会 — 東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

第 21 回 東日本学校吹奏楽大会 「10月9日 札幌」

東大和市立 第一中学校吹奏楽部 銅賞

鳥之石楠船神 (とりのいわくす ふねの かみ)

東大和市の中学校は、何年も前から吹奏楽部の活動が盛んで、さらに都立東大和高校・、都立東大和南高校の二校も、吹奏楽部の活躍ぶりは有名です。

今回は、東大和市立第一中学校の吹奏楽部が、北海道札幌で行われた「第 21 回 東日本吹奏楽大会 中学の部」に推薦され参加しました。

北海道、東北、東関東、西関東、東京都、北陸から選ばれた学校の 30 団体、東京都からは 5 校が飛行機に乗って札幌に向かいました。

第一中学校は、神話を題材にした作品「鳥之石楠船神」を演奏し、結果は中学校部門 30 団体のうち見事に銅賞を受け、生徒たちは尾崎保夫市長に報告をしました。東大和市立第一中学校はこれまでも優秀な成績を上げてきた学校です。また、市内の中学校高等学校の吹奏楽部はどの学校も熱心です。今後も活躍を期待しています。



遠い あの夏の日

夏休み期間中、小学校にぶらり訪問をした。職員室の先生たちに挨拶をして、その日は校長先生だけではなく、副校長先生も交えて懇談をした。オリンピックやパラリンピックの話、子供の様子などを聞かせてもらい、職員室にいた先生方からも見送られて学校を出た。

ふと見ると、プールを一人タワシをもって、プールの床を掃除する若い先生らしき男性がいた。私が自転車から降りて「先生、掃除が大変ですね。」と声をかけると、すっと立ち上がり、こちらに向かってきて来て「私、先生ではないんです。今日でプール指導が終わるので、お世話になったお礼に掃除をしてたんです・・・明日遠くに帰ります。」「そうですか。どこに帰るのですか?」「北海道の大学で勉強しています。」「えっ! 北海道は私の生まれたところだよ。教員になるの?」「いいえ教員になろうとは考えていません。明日朝、北海道に戻ります。」若者は目を輝かせていた。・・・どうしているかな・・・。